

磐崎小学校だより

いわき市立磐崎小学校 文責：校長 圓谷 貴



奉仕作業、ご協力ありがとうございました

9/8(土)、PTA奉仕作業では大変お世話になりました。悪天候のため、一週間延期となりましたが、保護者の皆様のご協力により、校舎内外がとてもきれいになりました。特に藤原川の土手の除草作業では、時間をかけて取り組んでいただき、本当にありがとうございました。今後とも、子どもたちの学習環境の整備のためご協力をいただくと本当にありがたいです。大変お世話になりました。

方部音楽祭、頑張りました



9/7(金)、常磐方部小学校音楽祭が常磐市民会館にて行われました。常磐方部の小学校6校から4年生の児童290名が参加し、日頃の各校の学習の成果を発表しました。

本校の4年生89名は、「校歌」と「ドラえもん」を披露しました。とても素晴らしい演奏でした。一学期からこつこつと練習を重ねてきた成果です。毎朝、「ドラえもん」を聴くとその日一日がとても楽しく思えました。

修学旅行・見学学習



- (9/12) 目的地
4年生・南部清掃センター・吹松公園
- (9/14) 目的地
1年生・常磐給食センター・
21世紀の森公園
- 2年生・アクアマリンふくしま
- 3年生・小名浜菜園・暮らしの伝承郷
- 5年生・日産いわき工場・
アクアマリンふくしま
- 6年生・修学旅行(東京方面)国会
議事堂・東京ドームシティ

市青少年育成大会

9/2(日)いわき市文化センターで、中高校生の意見発表、記念講演が行われました。記念講演は、「インターネットと人とのかかわり」と題してスマイリーキクチさんの講演でした。キクチさんは、身に覚えのない殺人犯にされた経験から、ネットの怖さについて語り、特にいじめについては、ネット上に悪口を書かれて自殺した事件などに触れて、言葉の責任や家庭でのルールづくりの大切さについて語っていました。

ワンポイントアドバイス⑦ ～人間の発達段階～

エリクソンの心理社会的発達理論とは、人が生まれてから死ぬまでの発達に関する理論です。つまり、プラスの力とマイナスの力は、人生の全ての段階でせめぎ合いを続けており、各段階において両者のバランスをうまく保ちながら、プラスの力がマイナスの力より強くなるような経験を積み重ねていくことが大切ということのようです。特に「発達には飛び級はない」とも言われています。その時、その時の発達課題をしっかりと乗り越えていく経験が大切なのだと思います。

1. 乳児期(0歳～1歳頃)：基本的信頼感 v s 不信感
 2. 幼児前期(1歳頃～3歳)：自律性 v s 恥・羞恥心
 3. 幼児後期(3歳～6歳)：積極性(自発性) v s 罪悪感
 4. 児童期・学齢期(6歳～10歳)：勤勉性 v s 劣等感
 5. 青年期(10歳～18歳)：同一性(アイデンティティ) v s 同一性の拡散
 6. 成人期(就職して結婚するまでの時期)：親密性 v s 孤立
 7. 壮年期(子供を産み育てる時期)：世代性 v s 停滞性
 8. 老年期(子育てを終え、退職する時期～)：自己統合(統合性) v s 絶望
- 次回以降は、乳幼児期から青年期までを詳しく説明していきたいと思ひます。

